

9月 (定例)・臨時 教育委員会会議録

日 時	平成30年9月24日(火) 午前10時30分から
場 所	山梨市役所 3階 応接室
出席委員名	市川今朝則、三森智文・幡野勝彦・佐野千春・林正文
出 席 事務局員名	加々美修、望月好也、宮澤健一、古屋雅章
署名委員名	
委員会書記	山崎公誌

議題及び議事の概要

○議事

(1) 夏季休業中における児童・生徒の指導等の状況について
 教育長) 経緯の説明。家出事案1件、高温による夏休みプール使用中止2件、山梨南中女子バレー部の全国大会ベスト16について報告。

(2) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について
 指導主事) 市としての結果の取り扱いおよび調査結果の説明。
 委員) 先日の県の学力把握調査と比べて結果はどうか。
 指導主事) 対象学年は違うが、傾向は概ね同じである。
 委員) 調査対象には特別支援学級の児童・生徒なども含まれているのか。
 指導主事) 基本的には普通学級が対象だが、情緒学級の子どもでもテスト可能な子供はテストを受けている。対象については文科省の基準に基づき各学校で判断している。判断に対し保護者からの苦情はない。

教育長) 昨年までは小学校の成績が今一步であったが、今年は向上している。逆に中学3年生は昨年良かったものがやや下がっているが、当該学年が小学6年時の結果から比べると、向上している。また、学習状況調査では子供がどのような環境で学んでいるかが分かる。成績結果のみに一喜一憂することなく、子供が自己肯定感を持ち、学校が楽しいと思えることが大事である。

委員) 向上に向けてどのような取り組みを行ったか。
 指導主事) 県でも力を入れており、各学校でも子供たちに考えさせる場面を多くする、家庭学習との連携を強化するなどの授業改善の取り組みを行っている。また国語については、日常的に書くという取り組みを進めている。

(3) 第1回生活いじめアンケート集計結果について

指導主事) 資料に基づき説明。否定的な回答について目を向けていくことが大事である。

委員) いじめとふざけの判断は難しいところがある。

指導主事) 受け手側が苦痛を感じるかどうかでいじめと認知する。昨年と比べ肯定的な評価が多くなっている。学習状況調査の結果にも肯定的な評価が増えたことも併せて、子供たちの学校での気持ちが改善してきていると感じている。

教育長) アンケートの一番の目的は、否定的な意見の子供を早期に発見し、手だてを講じることであるので、今後も早期の対処を学校に働きかけていく。

(4) 不登校児童・生徒の状況について

指導主事) 資料に基づき説明。県平均と比べても高いが特に中学校で長期欠席の割合が多い。また、前年度と比べても増加傾向にある。庁内で指導支援会議を設け学校教育課のみならず福祉課、健康増進課、子育て支援課などが情報を共有する中で、子供たちへのアプローチをしているところである。

委員) 不登校の傾向は。

指導主事) 兄弟で不登校の場合や、学業不振、家庭環境の問題などさまざまである。

教育長) 不登校の理由は、学校に起因するものよりも貧困やネグレクトなど家庭に起因することのほうが多いが、家庭に立ち入るのはなかなか難しいところがある。

委員) 不登校の親へのアドバイスや講演会などを開いてはどうか。

教育長) 今後検討していく。

(5) 学校事故調査委員会中間報告について

学校教育課長) 経過説明を行う。

(6) 通学路の安全点検について

事務局) 内容の説明を行う。

(7) 市長の学校訪問について

学校教育課長) 実施概要および結果について説明を行う。

委員) 市長が直接学校現場に出向いて意見を聞くことは今までなかったことであり、ありがたいことである。

(8) 秋季運動会及び学園祭の出席者について

事務局) 内容について説明。

(9) 教育委員の学校・園訪問の日程について

(10) 峡東地区教育委員会連合会研修会日程等について
事務局) 各委員の予定を聴取し、日程調整を行う。

(11) その他

次回 10月16日(火) 午前10時から

議決事項

その他、会議において必要と認めた事項

全国学力・学習状況調査および不登校児童・生徒の状況について、会議中説明が不十分だった部分について、次回の定例教育委員会にて補足説明を行う。